## イースター。教会から みなさんへ

他人から見捨てられるのは、つらいことです。 でも、誰にも経験があるでしょう。 イエス・キリストもまた、 見捨てられる絶望と孤独を誰よりも深く味わわれて死に、 しかし復活されました。 そして今も、つらさを味わう私たちのかたわらに おられます。

4/21(日)のイースター礼拝、前日 4/20(土)の受難週音楽伝道礼拝(下記)には、 是非 教会へいらしてください。

## 受難週音楽伝道礼拝

一J. S. Bach 作曲マタイ受難曲献奏とメッセージー

第1曲 合唱「来たれ娘ら共に悲しみ嘆かん」

第3曲 コラール「愛のイエス 何を犯して」

第6曲 アリア(アルト)「わが悔い、わが嘆き」

第8曲 アリア(ソプラノ)「血に染む、愛なる血に染む」

第10曲 コラール「我こそは、手足地獄に つなぐべきを」

第15曲 コラール「我と識りませ、主よ、我なり」

第17曲 コラール「御許離れず、おらせ給え」

第25曲 コラール「御心のままに」

第29曲 コラール「おお人よ、汝が罪の大いなるを嘆け」

説 教 「主イエスを裏切ったのはだれか」 瀬谷 寛 牧師

第32曲 コラール「世は我が目前で偽りの裁きをなせり」

第37曲 コラール「我が主を打ちし重き苦しみ」

第39曲 アリア(アルト)「憐れみたまえ、わが神よ」

第40曲 コラール「御そばを離れし この身を赦し」

第46曲 コラール「驚くべきこの刑罰」

第54曲 コラール「血しおしたたる」

第67曲 レシタティーヴォと合唱「今や主は憩いにつき給うた」

第68曲 合唱「涙もてうずくまりて」

J.S.Bach 作曲「マタイ受難曲」は「マタイによる福音書」に描かれた キリスト受難物語をレチタティーヴォ、アリア、コラール、合唱によって 構成した音楽作品で、1727年、ライプツィヒの聖トーマス教会にて初 演されました。当時の受難曲が礼拝の中で会衆に理解される言葉で演 奏されたことを思い起こし、当教会では日本語演奏と合唱団員による聖 書群読によって献奏しています。

演奏:仙台東一番丁教会グロリア合唱団・合奏団

ソプラノ:大森恭子、アルト:鬼澤梨沙

指 揮:末光眞希



<sup>\*</sup> 入場無料ですが、お志の献金をお願いしております。